

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： エピトープ模倣ペプチドの横断的解析と液性免疫の制御
2. 研究代表者： 野中 元裕（京都大学 医学研究科 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、複雑な生体高分子のうち自己抗体に結合する構造単位（エピトープ）に着目してエピトープを模倣するペプチドの配列情報を取得し、これらペプチドを用いて病因となる B 細胞を除去する自己免疫疾患治療法の創出を目的としている。

フェーズ 1 では、独自のフェージライブラリーを用いたスクリーニング系を開発し、疾患モデルマウス（1 型糖尿病マウス（NOD）と全身性エリテマトーデスマウス（MRL/lpr））における自己抗体に反応する特異的なペプチドを取得し、大きな成果を上げた。

フェーズ 2 では、取得したペプチドを用いて自己抗体産生 B 細胞を特定し、それらを排除する治療戦略の基、複数の応用研究を実施する。多角的な視点から検討を進めており、今後の成果が見込まれる一方で、多クローン性疾患に適応するためには課題も多い。本研究プラットフォームを自己免疫疾患等の新規バイオマーカー探索や病態解析に応用することも期待する。

以上